

周辺小学校へのリサイクルスタディについて

～環境への寄与等の広報活動～

西日本支社技術監理部

URは“資源の有効利用及び廃棄物の削減と建設リサイクルの推進”、更に「地球に優しいゼロエミッション」に取り組んでいます。具体的には、従前住宅の解体・除却に伴い発生するコンクリート、内装材、樹木などを有効利用することによって、廃棄物（いわゆるゴミ）の搬出量を抑制することです。

平成22年度より、こうした当機構事業における環境への取組みについて理解を得ることを目的に、環境教育の一環として『子供の夢を育む』視点から、UR建替団地の周辺小学校を対象に授業（URではリサイクルスタディと呼んでいます。）を実施しております。

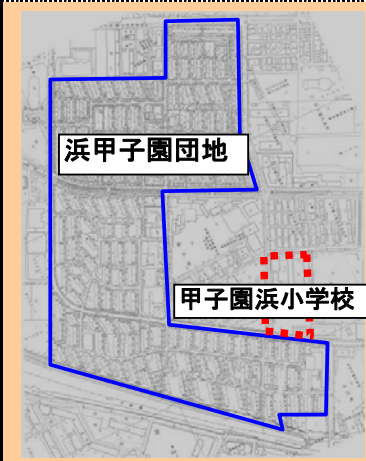
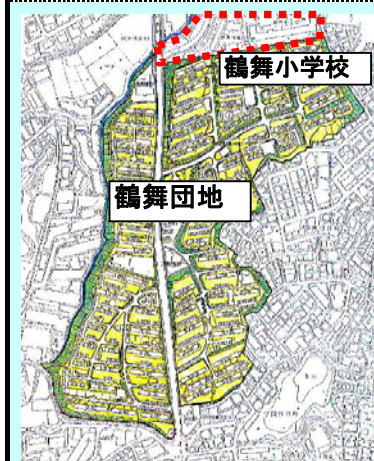
平成23年度も引き続き授業を実施及び予定していますので、ここに紹介致します。

平成22年度の実施状況

仁川団地	鶴舞団地	千里山団地
平成22年7月13日（火）	平成22年10月7日（火）	平成23年1月18日（火）
宝塚市立仁川小学校	奈良市立鶴舞小学校	吹田市立千里第二小学校
9:30～10:15 2時間目	9:45～10:30 2時間目	9:35～10:20 2時間目
4年生4クラス120名	4年生2クラス42名	4年生4クラス149名
社会科	総合的な学習	総合的な学習

平成23年度の実施・予定状況

鶴舞団地	浜甲子園団地	千里山団地
平成23年10月14日（金）	平成23年10月27日（木）	平成24年1月31日（火）
奈良市立鶴舞小学校	西宮市立甲子園浜小学校	千里第二小学校
9:45～10:30 2時間目	9:30～11:20 2,3時間目	9:35～11:30 2,3時間目
4年生2クラス45名	3年生4クラス140名	4年生4クラス139名
総合的な学習	社会科	総合的な学習




鶴舞小学校では！


平成23年度の1回目のリサイクルスタディは、昨年度も実施した奈良市立鶴舞小学校で行いました。昨年度同様、単に団地建替の建設リサイクルだけではなく、環境・地球温暖化や一般的リサイクルの話題を組み入れ、またURから児童への情報伝達が一方通行にならない様にクイズ形式や問いかけを織り交ぜた授業にしました。特に、大規模である鶴舞団地の建物解体で発生するコンクリートや畳の物量を絡めたクイズでは、児童達は正解、不正確に関わらず積極的に答えてくれました。

《授業で使用したパワーポイントの一部》

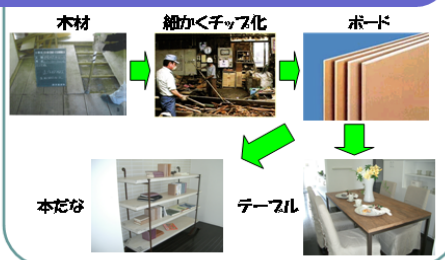
さて・・・どこ氷がとけるでしょうか？



答え
北極(ほっきょく)と
南極(なんきょく)



部屋の中の木材は家具などにリサイクルされます。



授業を終えた数日後、4年生児童全員からURへリサイクルスタディの感想文集が郵送されてきましたので、その一部を紹介します。



《授業の様子 H23.10.14》



甲子園浜小学校では！

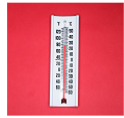
平成23年度2回目のリサイクルスタディは、西宮市立甲子園浜小学校で実施しました。今回は、対象となった3年生4クラス140名を2班に分け、2時間目、3時間目にひと班ごと同じ内容の授業を行いました。授業では、『3Rについて』や『兵庫県に住む人が出す1人あたりのごみの量は、全国で第何位でしょう？』などのクイズを行い、一人あたりのごみの量を体感してもらうためにペットボトル（2リットル入り）の中身を半分だけ残して、1kg（1,000g）を児童たちに持ってもらうなどの新たな取り組みを実施しました。更に、団地のつくりなおし（建替）についても説明しました。

地球でなにがおこっているかな？

世界中の気温が少しずつ上がっています。

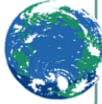
★問題

100年たったら何℃上がると言われているでしょう。



答え

4℃



注）上記はJGCC(国連の「気候変動に関する政府間パネル」)予測(推定値)

3Rについて

- (ごみ) 出さないことは ⇒ **リデュース**
- 3R そのまま繰り返し使うことは ⇒ **リユース**
- 再生(さいせい)して使うことは ⇒ **リサイクル**

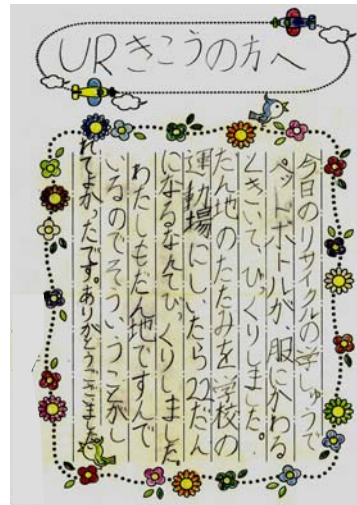
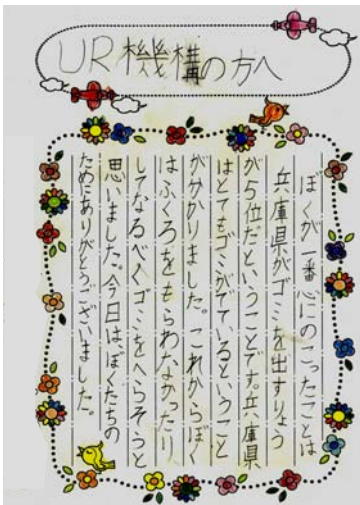
コンクリート建物(たてももの)でリサイクル①こわします。



団地をつくりなおしました！



この小学校からもクラス児童全員からURへリサイクル授業の感想文集をいただきましたので、一部を紹介します。



《授業の様子 H23.10.27》



次の3学期では！

3学期には吹田市立千里第二小学校で平成24年1月31日に授業を予定しています。ここでは、「低炭素社会に向けた3Rへの取組み」に「団地の記憶の継承」と「UR賃貸住宅のPR」を融合させる狙いから、身近な千里山団地の一部（従前建物の床材）からリサイクルした団地グッズ（キーホルダーなど）を授業の記念として児童に贈呈する予定です。

今後の展開！

平成22年度から、このリサイクルスタディを4つの小学校で延べ496名の児童を対象に行うことができました。

廃材やリサイクル製品などを実際に見てもらい、触れてもらい、考えてもらうことによって、UR都市機構の環境への取組みを理解してもらおうという当初目的の達成にとどまらず、児童たちの環境への関心を高めることに貢献できたのではないかと考えています。また、周辺のまちや団地の歴史を知る学習の機会としても有意義であったと言えます。今後も引き続き、リサイクルスタディを実施するよう考えています。



お問合せ先

UR都市機構西日本支社技術監理部
土木管理チーム TEL06-6969-9247